

評価方法の見直し（案）について

1 概要

平成 28 年度の業務実績に関する評価に当たって、これまでの記述によるものに加え、評価委員会における評価を明確にするため、A・B・Cの3段階による項目別の評価を行う。

その際、年度計画に対する取組の評価に合わせて、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況についても評価を行う。

2 追加する評価方法

中期計画に定めた大項目及び中項目ごとに、次の3段階による評価を行い、大項目については、そのように判断した理由を併せて記載する。

A評価：年度計画に対し十分に取り組み、成果も得られており、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

B評価：年度計画に対し十分に取り組んでいるが、中期目標・中期計画の達成に向けては、成果が得られる具体的な取組が必要である。

C評価：年度計画に対する取組は十分ではなく、中期目標・中期計画の達成のためには、改善が必要である。

3 評価結果への記載について

2 ページ中に、「5 項目別評価の具体的な方法」として加える。

5 項目別評価の具体的な方法

中期計画に定めた大項目及び中項目ごとに、次の3段階による評価を行い、大項目については、そのように判断した理由を併せて記載する。

評価	判断目安
A	年度計画に対し十分に取り組み、成果も得られており、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
B	年度計画に対し十分に取り組んでいるが、中期目標・中期計画の達成に向けては、成果が得られる具体的な取組が必要である。
C	年度計画に対する取組は十分ではなく、中期目標・中期計画の達成のためには、改善が必要である。